

西日本豪雨災害ビジョンバン活動報告 2018年7月15日 - 16日
日本眼科医会 加藤圭一 浅井利通
岡山県眼科医会 坂口紀子

2018年7月11日水曜日

岡山県眼科医会副会長（岡山市立市民病院）の坂口紀子先生からビジョンバン派遣要請が加藤圭一常任理事に電話で入る。

岡山県倉敷市真備町の避難所にビジョンバンを派遣してもらいたい。

14日（土）に岡山県新見市哲西町でビジョンバン健診があるが、その後15日（日）、16日（月）にビジョンバンを倉敷市真備町の避難所に派遣してもらいたい。

日本眼科医会の対応：

岡山県眼科医会会長、渡辺英臣先生に確認の上、直ちにビジョンバン派遣の準備を開始。

白根雅子会長：日本眼科学会 大鹿哲郎理事長に連絡 協力する旨の返信

前田利根副会長：日本眼科用剤協会、日本コンタクトレンズ協会に連絡

岡山大 白神史雄教授に連絡

加藤圭一常任理事：

東日本急行：運転手の16日まで岡山県滞在確保

運転手の新見市でのホテル確保 倉敷市に近いホテルの検索

医師の手配はすべて岡山県眼科医会で

日本眼科用剤協会、日本コンタクトレンズ協会に連絡

メディファックス「眼科医療支援車両を被災地に派遣へ 西日本豪雨で眼科医会」記事掲載

日医との対応を検討

浅井利通理事：

岡山坂口副会長と電話打合せ。

日本眼科用剤協会、日本コンタクトレンズ協会に連絡。（ビジョンバン搭載用剤、搭載CLの検討。）

ビジョンバン搭載用剤（日本眼科用剤協会）：

- ① 抗菌剤（クラビット 50本、タリビット眼軟膏 10本）
- ② ドライアイ（ヒアレイン 0.1 50本）
- ③ ステロイド（フルメトロン 0.1% 50本）
- ④ 非ステロイド（プロナック 50本）

⑤ 緑内障（タプロス、ルミガン、アイファガン、コソプト）（各 30 本）

⑥ アレルギー（アレジオン 30 本）

14 日（土）きらめき広場哲西でのビジョンバン健診時間内に、現地卸（エバルス）より納入。

ビジョンバン搭載 CL、ケア用品（日本コンタクトレンズ協会）：

・ 一日使い捨てソフトコンタクトレンズ

−1.00、−1.50、−2.00、−2.50、−3.00、−3.50、−4.00、−4.50

−5.00、−5.50、−6.00、−6.50、−7.00、−7.50、−8.00、−8.50

−9.00、−9.50、−10.00（各6箱）

・ ソフト用ケア剤 2 ケース（40 本）

・ ハード用ケア剤 20 本

7 月 14 日（土）までに岡山県新見市の NPO きらめき広場（ビジョンバン宛て）到着予定。現地の NPO 法人にもビジョンバン用に支援物資を配送したことを事前連絡済。

岡山県眼科医会の対応：

新見市哲西町での14日（土）のビジョンバン健診、目の健康講座（講演）と健診のみを行うことで開催決定。

辻 優先生（岡山県眼科医会副会長）から坂口紀子副会長に被災地へのビジョンバン派遣の相談。

坂口副会長から加藤日眼医常任理事に派遣の打診

坂口副会長から渡辺英臣会長に連絡、岡山県眼科医会としてビジョンバン派遣要請決定。

辻 優副会長：

岡山県保健福祉部医療推進課（災害対策本部統括）にビジョンバンによる診療支援の承認を得る。

岡山県医師会へ連絡、承認を得る。

（片山望元岡山県眼科医会会長（前岡山県医師会理事）：岡山県医師会定例理事会議にビジョンバン活動承認申請。）

（岡山県医師会から、1. 倉敷市、倉敷市保健所、担当地区医師会の承認を得ること、2. 岡山県保健医療調整本部で救護班登録をすることの指示を受けた。）

辻俊彦副会長（元倉敷医師会長、元倉敷市連合医師会長）：

倉敷市役所真備支所長、倉敷市保健所保健課、倉敷市連合医師会、

倉敷医師会、吉備医師会（真備地区が所属）に連絡。

川崎医大への連絡。

2018年7月12日木曜日

日本眼科医会の対応：

日本コンタクトレンズ協会から、今回の商品提供について後日、行政に報告をするのに必要なので、「依頼文」が欲しいとの連絡あり。最終的な商品リストを付けて、提出する方向を約束。岡山県眼科医会からのビジョンバン派遣依頼文もいただく方針。

加藤常任理事：

マスコミ各社に対して、プレスリリース：「岡山県倉敷市へのビジョンバン（眼科医療支援車両）派遣について」をメール配信。

予算不足の可能性を検討。

ビジョンバン維持・輸送費日眼医持ちは確定。

① 通常活動と同額の報酬+交通費のみ支給（職種による）が良いのではないかと

参照：ビジョンバン活動未体験ブロックへのお願い

日本眼科医会から直接支払う費用（全額）

ビジョンバン移送費用・ドライバー人件費・ドライバー宿泊費・医療機器設置費用
該当ブロックへの補助

活動参加者への報酬

② 医療機器立会費用を日眼医で出すのか、日本眼科医療機器協会にお願いするのか？

③ 日眼医役員への旅費支給の財源

浅井理事：

ビジョンバン搭載CL、ケア用品（日本コンタクトレンズ協会）：CLは全体に一律の箱数のため相対的に中央部のパワーでの箱数が少なく、中央部は0.25D刻みにして中央部倍量追加。

通信回線：浅井理事から加藤常任理事への通信テスト、画像送信テスト。

岡山の坂口先生からのメールによると、ビジョンバン活動の予定は、現地の医療対策本部にも伝わり、歓迎をもってうけとめられている。

岡山坂口副会長と打ち合わせ。

1. 真備町には一般車は入れない。
2. 倉敷市役所から倉敷市のマイクロバスで真備町に入る。ビジョンバンはマイクロバスの先導で真備町に入る。
3. 倉敷市役所9時集合。それまでにビジョンバンを市役所駐車場に回送。
4. ビジョンバンは新見市からは距離があり、前日岡山市・倉敷市泊まりが良い。坂口副会長岡山市立市民病院駐車場を手配。

6. ビジョンバン派遣診療予定避難所、二万小学校、岡田小学校予定。
300名避難されている。最終的な名前場所は後で確認。
市が避難所で広報してくれる。
7. 砂埃が強く洗眼のために生食500ml×10本追加希望。
8. 岡山で医師5名、看護師1名、視能訓練士協会からのORTI名待機。

岡山県眼科医会の対応：

辻 優副会長；岡山県保健福祉部医療推進課で救護班登録（岡山県眼科医会）。岡山県医師会と折衝。

辻俊彦副会長（元倉敷市連合医師会長）：倉敷市、倉敷医師会と保健所と折衝。

（折衝先）

倉敷市保健所保健課、倉敷市役所真備支所長、

倉敷市連合医師会、倉敷医師会、吉備医師会

坂口副会長：日眼医との打合せ、参加者への連絡、持込物品（スタッフ用飲料含む）の手配、同行看護師手配、公立病院人的派遣依頼書の作成。写真入り点眼薬説明書（写真1）、点眼薬添付説明書（写真2）、「被災地における眼科疾患への対応について」（東北大学作成文書）コピー、被災地隣接区域の眼科医療機関リスト、眼科医会診療録コピー。

日本視能訓練士協会・南雲 幹会長より協力の申し出があり、15、16日各1名の視能訓練士派遣依頼

2018年7月13日金曜日

日本眼科医会の対応：

白根雅子会長、15日（日）参加決定。

白根会長、浅井理事、15日（日）岡山駅で辻 優副会長と7時30分に合流

加藤常任理事：

ビジョンバン運転手宿泊場所、運航予定、東日本急行手配。東日本急行よりホテル、駐車場手配。

参加する医師・検査員・事務には通常活動と同額の謝金＋交通費の支払予定。

昨日夕方、広報から各メディアにメール配信。活動場所が決まった時点で、本日再度メール配信する予定。

メディアへのメール配信時に、ビジョンバンホームページへの誘導文章も入れる。

ビジョンバンホームページに掲載する情報をまとめる。内容は下記で。

・倉敷での活動日時

- ・倉敷での活動予定：現状小学校2つのどちらかという程度
- ・情報更新日時
- ・当日問い合わせ先はホームページに掲載不要。携帯電話番号は掲載しない。
内容が変わるたびに更新。

役員では、白根会長と浅井理事が現地に向かう。岡山県眼科医会が主体となる活動なので、あまり日眼医役員が集まると少々ご迷惑にもなりかねない。現地には一般車両は入れず、ビジョンバンも倉敷市役所の方に先導されての移動。

浅井理事：

日本眼科用剤協会へ生食 500ml × 20 本追加発注。14 日（土）きらめき広場哲西でのビジョンバン健診時間内に、現地卸（エバルス）より納入。

診療録打合せ。災害診療記録（図 1）、ビジョンバン問診票（図 2-2、図 2-3）両方に記載。松田医師（兵庫県災害医療コーディネーター、兵庫県眼科医会理事）も同行。

岡山県眼科医会の対応：

派遣避難所：二万（にま）小学校、菌（その）小学校に変更

参加者決定（岡山）：

15 日（日）

医師：渡辺英臣（会長）、坂口紀子（副会長）、辻 優（副会長）、松本泰明（倉敷市）、熊瀬有美（岡山大学ロービジョン外来）、桐生純一（川崎医科大学教授）

看護師：角南一恵（岡山市立市民病院）

視能訓練士：徳武朋樹（日本視能訓練士協会）

器械梱包、展開：藤井宏憲（リイツメディカル）

16 日（月）

医師：渡辺英臣（会長）、坂口紀子（副会長）、辻 優（副会長）、辻 俊彦（副会長・倉敷市）、藤本久貴（川崎医科大学講師）、田淵昭雄（川崎医科大学名誉教授、川崎医療福祉大学名誉教授）

看護師：栗田 歩（岡山市立市民病院）

視能訓練士：今井俊裕（日本視能訓練士協会）

器械梱包、展開：藤井宏憲（リイツメディカル）

2018年7月14日土曜日

岡山県眼科医会：

（岡山県新見市哲西町）

講演「目の病気について」

ビジョンバン眼科健診

ビジョンバン活動初回は134名。

2018年7月15日 日曜日

加藤常任理事：

9:09AM 《ホームページ更新》本日は11時～13時に倉敷市二万小学校で活動予定です。眼科チームは既に合流し、現地に向かっている。現在、読売新聞、山陽新聞、NHK岡山局の取材申し込みが入っている。19時、21時のNHK 全国ニュースの最初のほうで、倉敷市での活動が放映。白根会長も登場。

浅井理事：

（日眼医役員への報告メール）：

ビジョンバン災害派遣、一日目が終了しました。

大きな成果を得ました。今後の眼科災害救急医療の大きな一歩だと思います。

11時～14時、倉敷市真備町、二万（にま）小学校です。

出務医：

岡山県眼科医会：渡辺英臣（会長）、坂口紀子（副会長）、辻 優（副会長）、桐生純一（川崎医科大学教授）、松本泰明（倉敷市）、熊瀬有美（岡山大学ロービジョン外来）

日本眼科医会：白根雅子（会長）、浅井利通（理事）

兵庫県眼科医会：松田 聡（兵庫県災害医療コーディネーター、兵庫県眼科医会理事）

看護師：角南一恵（岡山市立市民病院）

視能訓練士：徳武朋樹（日本視能訓練士協会）

白根会長、松田先生、私の3名は7時30分に岡山駅で合流し、坂口先生と辻先生の車に分乗して倉敷市に向かいました。

ビジョンバンは倉敷市役所駐車場に前日岡山県新見市でおこなわれた、ビジョンバン健診から回送しています。

9時倉敷市役所で集合し、市役所のマイクロバスで避難所に向かいました。

ビジョンバンは運動場に直接入れず（入り口を通過できない）、一段下のサブグラウンドに駐車し、眼科医会の診療に提供いただいた学童保育教室でハンドスリット等での診療をまず行い、必要に応じてビジョンバンに案内することとしました。

多くのマスコミの取材がありました。

診療人数：21名

多くの患者さんに感謝され、満足していただいたと思います。浅井

倉敷地域災害保健復興連絡会議（KuraDR0(クラドロ)=Kurashiki disaster recovery organization）へ出席：渡辺英臣、松本泰明、松田 聡

2018年7月16日月曜日

浅井理事：

（日眼医役員への報告メール）

二日目の報告をします。

無事、ビジョンバン災害派遣が終了しました。

昨日と同様に9時倉敷市役所に集合し、市役所のマイクロバスで菌（その）小学校避難所に向かいました。ビジョンバンは運動場に駐車し、眼科医会の診療に提供いただいた学童保育教室で、昨日と同様にハンドスリット等での診療をまず行い、必要に応じてビジョンバンに案内することとしました。避難所で繰り返し広報していただき、診察開始前から多くの患者さんが来られ、混雑した状態での診療になりました。昨日以上に多くの取材を受けました。岡山県眼科医会の綿密な準備のおかげで、全くトラブルなく、多くの避難されている患者さんに喜んでもらえ、避難所でも大きな感謝をしていただきました。医療関係者にも眼科診療の重要性を認識していただけたと思います。

11時～14時30分、倉敷市真備町、菌（その）小学校。

出務医：渡辺英臣（会長）、坂口紀子（副会長）、辻 優（副会長）、辻 俊彦（副会長・倉敷市）、田淵昭雄（川崎医科大学名誉教授、川崎医療福祉大学名誉教授）、藤本久貴（川崎医科大学講師）

日本眼科医会：浅井利通（理事）

兵庫県眼科医会：松田 聡（兵庫県災害医療コーディネーター、兵庫県眼科医会理事）

看護師：栗田 歩

視能訓練士：今井俊裕（日本視能訓練士協会）

15日（日）：

受診者数：21名（男10名、女11名）

結膜炎：6名

結膜炎の疑い：4名

アレルギー性結膜炎：1名

角膜炎：2名
ドライアイ：4名
コンタクトレンズ：1名
緑内障：1名
白内障：2名
眼内レンズ挿入眼：2名
（重複有）

16日（月）

受診者数：71名（男30名、女41名）

結膜炎：41名
アレルギー性結膜炎：11名
角膜炎：2名
ドライアイ：6名
緑内障：3名
白内障：3名
眼内レンズ挿入眼：2名
結膜異物：1名
眼瞼炎：2名
結膜下出血：2名
麦粒腫：1名
角膜びらん：2名
網膜疾患：3名
（重複有）

受診患者の半数以上が結膜炎でした。目の違和感や、充血、眼脂等の主訴で受診される患者さんがとても多く、幼児の結膜異物除去を行った症例もありました。明確な原因特定は今後の課題でしょうが、環境悪化が結膜炎発症に影響を及ぼしている可能性があります。眼科は救命救急の災害初期には必要性が低いですが、少し落ち着いた時期からの需要は大きいことが示され、対応が必要なのは明白だと思います。今回は岡山県眼科医会の貢献により、大きな一歩を踏み出すことができました。今後どのように展開するかが重要になると思います。浅井

倉敷地域災害保健復興連絡会議（KuraDR0(クラドロ)=Kurashiki disaster recovery organization）へ出席：渡辺英臣、辻 俊彦

後記：

・使用薬剤：

クラビット点眼薬 0.5%	49 本
タリビット眼軟膏 0.3%	4 本
フルメトロン点眼薬 0.1%	8 本
ブロナック点眼薬 0.1%	9 本
アレジオン点眼液 0.05%	12 本
ヒアレイ点眼薬 0.1%	16 本
タプロス点眼液 0.0015%	1 本
コソプト配合点眼薬	1 本
アイファガン点眼薬 0.1%	1 本
ルミガン点眼薬 0.03%	0 本
大塚生食注 500ml	2 本

・使用 CL、コンタクトレンズ用品：

ソフト用ケア剤 2 個

・災害診療記録報告書：(J-SPEED (Surveillance in Post Extreme Emergencies and Disasters))

現在、災害医療情報の標準化に向け関係団体が共同しており、災害時診療録の標準化が行われている。この災害診療記録には眼科所見を記載する項目がなく、岡山県眼科医会で所見欄に眼所見を書き込めるように前眼部図を追加され（図 1）、今回の診療にはこの災害診療記録を使用し提出した。ビジョンバン健診での問診票（図 2-1）（今回は岡山県眼科医会が新見市ビジョンバン健診用に追加修正された問診票を使用（図 2-2、図 2-3））は眼科医会用のみ使用することになり転記した。今後、どの様に整合性をとるか検討が必要である。また集計用の J-SPEED レポーティング・フォームも眼科疾患を付け加えた表を作成していただき使用した（図 3-1、図 3-2、図 3-3、図 3-4）。

・通信確保：現地では電源が確保できない可能性もあり、通信確保は重要である。ビジョンバンのシガーソケットからの充電は有用である。

・診療スタッフ人員：今回の診療スタッフ人数は適正だったと思われる。現地では少数精鋭スタッフでの診療が有用と思われる。統括、診察スタッフ（3~4 列）、現地との連絡調整、広報対応、記録、診療録整理、患者誘導など役割分担を決めておくことが重要である。

- ・ 診療時間：今回の診療時間 3 時間は適正だったと思われる。
- ・ 看護師、視能訓練士の確保：医師のみでの診療では負担も多く、できれば複数名の看護師の協力が必要と思われるが、何処から確保するか検討しておく必要がある。視能訓練士は協会から協力いただける。
- ・ 現場での指揮系統を確立しておく必要がある。
- ・ ユニフォーム：今回岡山県医師会の上着があったが、通常はないと思われ、日眼医でユニフォームを用意しておくことが必要である。
- ・ 看板：あらかじめサインボードを用意しておく必要がある。（入口掲示用、通路に立てるものなど）被災地は住民、医療者、ボランティアなどで混雑しており、誘導が必要。
- ・ 現地は電気、水道が確保できない可能性がある。一回ごとの使い捨て手袋、消毒液が必須である。洗眼の受水器は使い捨ての紙コップを流用するのが有用である。
- ・ 現地に入って、先ず避難所の現地対策本部に出向き、挨拶、広報依頼等の打合せをしておく。避難所の医療班指揮は県外 J M A T がとっていたが、学校との調整、避難所の広報などは倉敷市の担当職員が行っていたので、市の担当職員とも連携する。
- ・ 眼科医が不在の時間帯に、眼症状を訴える患者に、どう対応するかについて、避難所内の J M A T チーム、薬剤師チームから質問があった。質問者は疾患に対する知識が不十分であり、また、渡せる薬剤も人口涙液、抗アレルギー剤点眼薬、O T C を勧めるなどの方法しか取れないため、対応に苦慮している様子であった。中等症以上は眼科受診をすすめることになるが、災害の現状を見て、初期対応のアドバイスを求められた場合の回答を、眼科の診療スタッフ間でまとめておく必要がある。
- ・ 今回、倉敷地域災害保健復興連絡会議（KuraDRO(クラドロ)=Kurashiki disaster recovery organization) が開催され参加した。薬剤の処方に KuraDRA 災害時処方箋（図 4）が作成され、避難所で薬が受け取れるよう便宜が図られていた。
- ・ 毎日「倉敷地域災害保健復興連絡会議」のような行政、医療者など多職種間の連絡会議が開かれると考えられ、当日の眼科診療終了後にミーティングを行い、会への報告事項と対策についても協議しておく。

- ・災害現場ではハンドスリットで対応できる。現場に簡易診察室を用意し、ビジョンバンを後方支援に用いるのが有用かと思われる。参加医師はハンドスリットの追加分を持参する。
- ・今回、結膜炎の発症が多かったが、原因については今後の検討課題である。避難所で万一流行性角結膜炎が発症した際の対応を考えておく必要がある。
- ・日眼医の対応と災害地域の対応、連携を平時に検討しておく必要がある。
- ・診療スタッフの安全確保。保険、予防接種等も含め、スタッフの安全確保に関し検討しておく必要がある。

広報 取材報道一覧：表1

当日写真：日眼医で保管

写真1：写真入り点眼薬説明書（原本：日本眼科用剤協会ホームページより出力）

写真2：点眼薬添付説明書（日本眼科用剤協会の支援薬品リスト確認後に作成）

図1：災害診療記録

図2-1：ビジョンバン問診票

図2-2：岡山県眼科医会修正ビジョンバン問診票（表面）

図2-3：岡山県眼科医会修正ビジョンバン問診票（裏面）

図3-1：J-SPEEDレポーティング・フォーム 15日二万小学校 一般提出用

図3-2：J-SPEEDレポーティング・フォーム 15日二万小学校 眼科用

図3-3：J-SPEEDレポーティング・フォーム 16日菌小学校 一般提出用

図3-4：J-SPEEDレポーティング・フォーム 16日菌小学校 眼科用

図4：KuraDRA災害時処方箋（現地本部で入手）

表1：取材報道一覧

緑内障治療点眼剤

インプロビルノプロストン

レスキュラ
点眼液0.12%



インプロビルノプロストンPF
点眼液0.12% [日点]



インプロビルノプロストン
点眼液0.12% [TS]



インプロビルノプロストン
点眼液0.12% [サワイ]



インプロビルノプロストン
点眼液0.12% [サワイ]



インプロビルノプロストン

インプロビルノプロストン
点眼液0.12% [ニッテン]



ミケラン
点眼液1%



カルテオロール
点眼液T1%



プロキレートPF
点眼液1%



カルテオロール塩酸塩

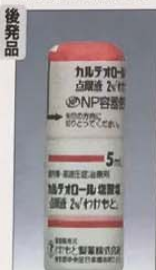
プロキレート
点眼液1%



ミケラン
点眼液2%



カルテオロール塩酸塩
点眼液2% [わかもと]



カルテオロール
点眼液T2%



プロキレートPF
点眼液2%



緑内障治療点眼剤

カルテオロール塩酸塩

プロキレート
点眼液2%



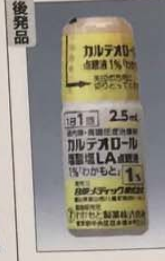
ミケランLA
点眼液1%



カルテオロール塩酸塩LA
点眼液1% [わかもと]



カルテオロール塩酸塩LA
点眼液1% [わかもと]

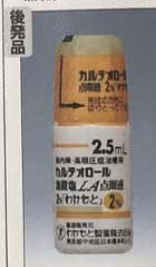


ミケランLA
点眼液2%

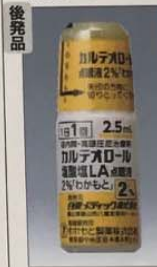


カルテオロール塩酸塩

カルテオロール塩酸塩LA
点眼液2% [わかもと]



カルテオロール塩酸塩LA
点眼液2% [わかもと]



カルテオロール塩酸塩・
ラタンプロスト

ミケルナ
配合点眼液



ジステグミン臭化物

ウブレチド
点眼液0.5%



ウブレチド
点眼液1%



ジビペリン塩酸塩

ビバレフリン
点眼液0.04%

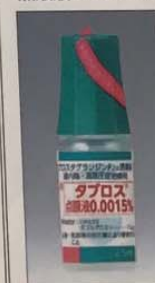


ビバレフリン
点眼液0.1%



タフルプロスト

タブロス
点眼液0.0015%



タブロスミニ
点眼液0.0015%



タフルプロスト・
チモールマレイン酸塩

タブコム配合
点眼液



写真2



アイファガン点眼液0.1% 1日2回 右・左・両眼

緑内障や高眼圧症の治療に用いる薬で、
眼圧を下げる作用があります。



アレジオン点眼液0.05%1日4回 右・左・両眼

アレルギーによる目のかゆみ、充血、涙目
などの症状を改善する薬です。



クラビット点眼1.5% 1日4回

細菌を殺し感染を治療する作用があります。



コソプト配合点眼液 1日2回 右・左・両眼

緑内障や高眼圧症の治療に用いる薬で、
眼圧を下げる作用があります。



タリビット眼軟膏 1日2回 右・左・両眼

細菌を殺し感染を治療する作用があります。

点眼液 1日 回 右・左・両眼



タプロス点眼液0.0015% 1日1回 右・左・両眼

緑内障や高眼圧症の治療に用いる薬で、
眼圧を下げる作用があります。



フルメロン点眼液0.1% 1日2-4回 右・左・両眼

目の炎症をやわらげる作用があります。
使う前によく振ってください。



ブロナック点眼液0.1% 1日2回 右・左・両眼

目の炎症をやわらげる作用があります。



ルミガン点眼液0.03% 1日1回 右・左・両眼

緑内障や高眼圧症の治療に用いる薬で、
眼圧を下げる作用があります。



ヒアレイン点眼液0.1% 1日4回 右・左・両眼

角膜の傷を治し、目の乾燥を防ぐ作用があります。

は、 および必要記入項目です。

年 月 日

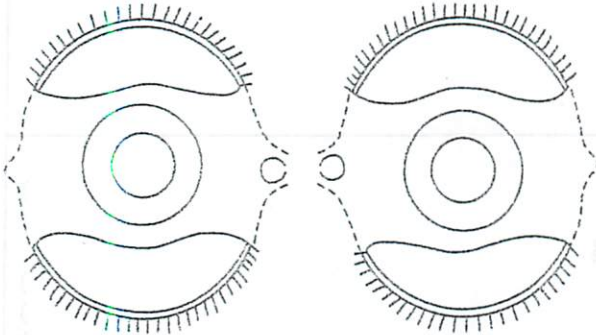
*該当性別に○を付す

メディカルID										M	F
バイタルサイン等	意識障害: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	呼吸数: /min	脈拍: /min	*該当項目に○を付す 整 不整		血圧: / mmHg	体温: °C				
身長: cm、体重: kg	既往歴 <input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 喘息 <input type="checkbox"/> その他()										
予防接種歴	<input type="checkbox"/> 麻疹 <input type="checkbox"/> 破傷風 <input type="checkbox"/> インフルエンザ <input type="checkbox"/> 肺炎球菌 <input type="checkbox"/> 風疹 <input type="checkbox"/> その他()						妊娠	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有			

主訴

外傷⇒黄色タグ以上は外傷カルテへ(J-SPEEDは記入)

- 痛み (頭痛 胸部痛 腹痛 その他: _____)
 熟発 _____ 日
 咽頭痛 咳 呼吸苦
 食思不振 下痢 _____ 日 (水様便、血便)
 不眠 めまい
 皮膚症状 眼の症状 耳の症状
 その他



診断	<input type="checkbox"/> 処置あり <input type="checkbox"/> 処置なし	処方 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
#1	<input type="checkbox"/> 創処置 <input type="checkbox"/> 点滴 <input type="checkbox"/> 注射 *その場の処置としての <input type="checkbox"/> 外用 <input type="checkbox"/> 内服 <input type="checkbox"/> その他	#1

初診時J-SPEED

<input type="checkbox"/> 1 男性	<input type="checkbox"/> 7 熱傷(皮膚/気道)	<input type="checkbox"/> 13 呼吸器感染症	<input type="checkbox"/> 19 気管支喘息発作	<input type="checkbox"/> 25 治療中断
<input type="checkbox"/> 2 女性	<input type="checkbox"/> 8 溺水	<input type="checkbox"/> 14 消化器感染症	<input type="checkbox"/> 20 災害ストレス諸症状	<input type="checkbox"/> 26 災害関連性なし
<input type="checkbox"/> 3 歩行不能(被災後~)	<input type="checkbox"/> 9 クラッシュ症候群	<input type="checkbox"/> 15 麻疹疑い	<input type="checkbox"/> 21 心理ケア	<input type="checkbox"/> 27
<input type="checkbox"/> 4 搬送必要	<input type="checkbox"/> 10 人工透析必要	<input type="checkbox"/> 16 破傷風疑い	<input type="checkbox"/> 22 緊急支援	<input type="checkbox"/> 28 介護/看護
<input type="checkbox"/> 5 創傷(臓器)損傷	<input type="checkbox"/> 11 深部静脈血栓症疑	<input type="checkbox"/> 17 皮膚疾患	<input type="checkbox"/> 23 水・食料	<input type="checkbox"/> 29
<input type="checkbox"/> 6 骨折	<input type="checkbox"/> 12 発熱	<input type="checkbox"/> 18 血圧 >160/100	<input type="checkbox"/> 24 栄養	<input type="checkbox"/> 30

【記載者】 (医師 看護師 薬剤師 その他)

岡山県眼科医会

所属 氏名

問診票

平成 年 月 日 _____番

太線の中だけをご記入ください

フリガナ 氏 名	
郵便番号・住所 連絡先電話番号	郵便番号もしくは住所： 電話番号：
生年月日／性別	大・昭・平 年 月 日（ 歳） 男・女
目の病気をしたことはありますか？	はい（病名： ） ・ いいえ
現在、眼科に通院中ですか？	はい ・ いいえ
内科の病気はありますか？	はい（病名： ） ・ いいえ
本日相談したいことはありますか？	はい（ ） ・ 特になし

匿名化された今回の健診データを各種統計・データ解析へ利用することがあります。ご自分のデータ利用を希望しない方は、文頭の□にチェックをいれてください。

※検査の方、医師は裏面に所見を記入してください。

所見記入欄：スペースが足りない場合は、表面もご活用ください。この問診票は回収します。

<p>分類 (主たる疾患)</p>	<p>複数に当てはまる場合には、主たる病名（疑いを含む）に◎を付けてください</p> <table border="0"><tr><td>1. 異常なし</td><td>2. 白内障</td><td>3. 緑内障</td><td>4. 屈折・調節異常</td></tr><tr><td>5. 眼底疾患</td><td>6. 外眼部疾患</td><td>7. 結膜疾患</td><td>8. 角膜疾患</td></tr><tr><td colspan="4">9. その他 ()</td></tr></table> <p>担当医師名： _____</p>	1. 異常なし	2. 白内障	3. 緑内障	4. 屈折・調節異常	5. 眼底疾患	6. 外眼部疾患	7. 結膜疾患	8. 角膜疾患	9. その他 ()			
1. 異常なし	2. 白内障	3. 緑内障	4. 屈折・調節異常										
5. 眼底疾患	6. 外眼部疾患	7. 結膜疾患	8. 角膜疾患										
9. その他 ()													

太線の中だけをご記入ください

フリガナ 氏 名	
郵便番号・住所 連絡先電話番号	郵便番号もしくは住所： 電話番号：
生年月日／性別	大・昭・平 年 月 日（ 歳） 男・女
目の病気をしたことはありますか？	はい ・ いいえ ◆ 当てはまる疾患名にチェック <input checked="" type="checkbox"/> をしてください。 <input type="checkbox"/> 白内障 <input type="checkbox"/> 緑内障 <input type="checkbox"/> 網膜剥離 <input type="checkbox"/> ぶどう膜炎 <input type="checkbox"/> 結膜炎 <input type="checkbox"/> 眼底出血 <input type="checkbox"/> 網膜変性症 <input type="checkbox"/> 外傷（けが） <input type="checkbox"/> 斜視 <input type="checkbox"/> その他（ ）
現在、眼科に通院中ですか？	はい ・ いいえ
内科の病気はありますか？	はい（病名： ） ・ いいえ
目で気になる症状はありますか？	はい（ ） ・ 特になし ◆ 症状があるのはどちらの目ですか？ <input type="checkbox"/> 右目 <input type="checkbox"/> 左目 <input type="checkbox"/> 両目 ◆ 症状が出たのはいつからですか？ （ ）
目の手術を受けたことがありますか？	はい ・ いいえ ◆ どんな手術を受けましたか？（ ） ◆ どちらの目の手術を受けましたか？ <input type="checkbox"/> 右目 <input type="checkbox"/> 左目 <input type="checkbox"/> 両目
現在さしている目薬はありますか？	はい（点眼薬名： ） ・ いいえ
眼鏡やコンタクトレンズを使用していますか？	はい ・ いいえ ◆ 使用している眼鏡やコンタクトレンズにチェック <input checked="" type="checkbox"/> をしてください。 眼鏡 <input type="checkbox"/> 遠用 <input type="checkbox"/> 老眼鏡 <input type="checkbox"/> 遠近両用 <input type="checkbox"/> 中近両用 <input type="checkbox"/> 近近両用 コンタクトレンズ <input type="checkbox"/> ソフトコンタクトレンズ（ <input type="checkbox"/> 使い捨て <input type="checkbox"/> 通年） <input type="checkbox"/> ハードコンタクトレンズ

匿名化された今回の健診データを各種統計・データ解析へ利用することがあります。ご自分のデータ利用を希望しない方は、文頭のにチェックをいれてください。

検診日 2-3 平成 30 年 7 月 14 日

第13回きらめき健康福祉まつり

受付番号

名前

眼科健診カルテ

裸眼視力 (矯正視力)

オートレフRACTメーター/トノメーター

右 (× S D = C D Ax. °)

左 (× S D = C D Ax. °)

眼鏡視力 (遠用・近用・遠近両用)

右 (× KB)

左 (× KB)

コンタクトレンズ視力 (SCL・HCL)

右 (× CL)

左 (× CL)

眼圧

レンズメーター

icare

右 mmHg

左 mmHg

診察

眼底

白内障

右 S () H ()

なし・軽度・中等度・高度・IOL・後発白内障

左 S () H ()

なし・軽度・中等度・高度・IOL・後発白内障

その他眼科所見

診断・判定

右

異常なし 異常はあるが放置可 要精検 要治療 判定不能

左

異常なし 異常はあるが放置可 要精検 要治療 判定不能

分類

(主たる疾患)

複数に当てはまる場合には、主たる病名(疑いを含む)に◎を付けてください

1. 異常なし 2. 白内障 3. 緑内障 4. 屈折・調節異常
 5. 眼底疾患 6. 外眼部疾患 7. 結膜疾患 8. 角膜疾患
 9. その他()

担当医師名: _____

災害時診療概況報告システム

J-SPEEDレポート・フォーム (Ver1.0)



※該当箇所に入力し、および☑を入れる

報告元	(所属・職種・氏名) 岡山県眼科医会 副会長 辻 優 (報告対象診療日): 2018年7月15日 (今回報告の主たる診療場所): 岡山県倉敷市立二万小学校 (明日の診療活動): <input type="checkbox"/> 同一地区で継続 <input type="checkbox"/> 別地区で継続 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 未定 (災害医療コーディネーター等への報告事項)
特記メモ	(携帯電話番号(報告者への連絡方法)): (電子メール): (派遣元区分): <input type="checkbox"/> 被災地元 <input type="checkbox"/> 被災地外・県内 <input type="checkbox"/> 県外 <input type="checkbox"/> 海外 (派遣元区分): <input type="checkbox"/> DMAT <input type="checkbox"/> 国立病院機構 <input type="checkbox"/> 日赤 <input type="checkbox"/> JMAT <input type="checkbox"/>

※記入報告: 症例毎にまず該当する年齢・妊婦区分(縦軸)を決定したのち、該当する症候群(横軸)全てをカウントしていく(死亡例は性別と主因の記入のみとする)。
 ※記入方法: 連日、該当症候群/健康事象数をチーム毎に積算し、対策本部等に報告するよう努める。

No	症候群/健康事象	0歳		1-8歳		9-74歳 (妊婦除く)		75歳以上		妊婦		合計	
		症例	死亡	症例	死亡	症例	死亡	症例	死亡	症例	死亡	症例	死亡
性別/受診者数													
1	男					7						10	
2	女					11			3			11	
27	結膜炎					5		1				6	
28	結膜炎の疑い					4						4	
29	アレルギー性結膜炎					1						1	
30	角膜炎					1			1			2	
31	ドライアイ					4						4	
32	コンタクトレンズ					1						1	
33	緑内障								1			1	
34	白内障											2	
35	頭内レンズ挿入眼(白内障術後)					1			1			2	
36	結膜異物					1						2	
37	角膜異物												
38													
39													
40													

追加症候群

図3-3

災害時診療概況報告システム

J-SPEEDレポーティング・フォーム (Ver1.0)



※該当箇所に入力し、および☑を入れる

報告元	【所属・職種・氏名】 岡山県眼科医会 副会長 辻 優 【報告対象診療日】 2018年7月16日 【今回報告の主たる診療場所】 岡山県倉敷市立蘭小学校 【明日の診療活動】 <input type="checkbox"/> 同一地区で継続 <input type="checkbox"/> 別地区で継続 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 未定	【携帯電話番号(報告者への連絡方法)】: 【電子メール】: 【派遣元区分】: <input type="checkbox"/> 被災地元 <input type="checkbox"/> 被災地外・県内 <input type="checkbox"/> 県外 <input type="checkbox"/> 海外 【派遣元区分】: <input type="checkbox"/> DMAT <input type="checkbox"/> 国立病院機構 <input type="checkbox"/> 日赤 <input type="checkbox"/> JMAT <input type="checkbox"/>
特記メモ	災害医療コーディネーター等への報告事項	

※記入報告: 症例毎にまず該当する年齢・妊婦区分(縦軸)を決定したのち、該当する症候群(横軸)全てをカウントしていく(死亡例は性別と主因の記入のみとする)。
 ※記入方法: 連日、該当症候群/健康事象数をチーム毎に積算し、対策本部等に報告するよう努める。

	No	症候群/健康事象	0歳		1-8歳		9-74歳 (妊婦除く)		75歳以上		妊婦		合計	
			症例	死亡	症例	死亡	症例	死亡	症例	死亡	症例	死亡	症例	死亡
性別/受診者数	1	男			1		21		8				30	
	2	女			2		29		10				41	
重症度	3	中等症(トリアージ黄色)以上												
	4	搬送必要性												
外傷/環境障害	5	創傷												
	6	骨折												
	7	熱傷												
	8	溺水												
高度医療 循環器	9	クラッシュ症候群												
	10	人工透析												
症候/感染症	11	深部静脈血栓症/肺・脳・冠動脈血栓症疑い												
	12	発熱												
	13	急性呼吸器感染症												
	14	消化器感染症、食中毒												
	15	麻疹疑い												
	16	破傷風疑い												
皮膚	17	皮膚疾患(外傷・熱傷以外)												
	18	高血圧症												
慢性疾患	19	気管支喘息発作												
	20	災害ストレス関連諸症状												
メンタル	21	緊急のメンタル・ケアニーズ												
	22	緊急の介護/看護ケアニーズ												
公衆衛生	23	緊急の飲料水・食料支援ニーズ												
	24	緊急の栄養支援ニーズ												
	25	治療中断												
	26	災害関連性なし												
追加症候群	27	結膜炎					34		7				41	
	28	結膜炎の疑い												
	29	アレルギー性結膜炎			2		6		3				11	
	30	結膜下出血					2						2	
	31	角膜炎・角膜びらん					2		2				4	
	32	ドライアイ					3		2				5	
	33	コンタクトレンズ												
	34	緑内障					1		2				3	
	35	白内障					1		3				4	
	36	眼内レンズ挿入眼(白内障術後)					2						2	
	37	眼底疾患							3				3	
	38	外眼部疾患											3	
	39	結膜異物・角膜異物											1	
	40	屈折異常			1		1						1	

災害時診療概況報告システム
J-SPEEDレポート・フォーム (Ver1.0)



※該当箇所に記入し、および☑を入れる

報告元	【所属・職種・氏名】 岡山県眼科医会 辻 優 【報告対象診療日】: 2018年7月16日 【今回報告の主たる診療場所】: 岡山県倉敷市立菌小学校 【明日の診療活動】: <input type="checkbox"/> 同一地区で継続 <input type="checkbox"/> 別地区で継続 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 未定	【携帯電話番号(報告者への連絡方法)】: 【電子メール】: 【派遣元区分】: <input type="checkbox"/> 被災地元 <input type="checkbox"/> 被災地外・県内 <input type="checkbox"/> 県外 <input type="checkbox"/> 海外 【派遣元区分】: <input type="checkbox"/> DMAT <input type="checkbox"/> 国立病院機構 <input type="checkbox"/> 日赤 <input type="checkbox"/> JMAT <input type="checkbox"/>
特記メモ	参加者 日本眼科医会 浅井 利通(理事) 岡山県眼科医会 渡辺 英臣(会長)、坂口 紀子(副会長)、辻 優(副会長)、辻 俊彦(副会長)、田淵 昭雄(前川崎医大教授)、藤本 久貴(理事) 兵庫県眼科医会 松田 聡(理事)	

ビジョンバン6例

	No	症候群/健康事象	0歳		1-8歳		9-74歳 (妊婦除く)		75歳以上		妊婦		合計	
			症例	死亡	症例	死亡	症例	死亡	症例	死亡	症例	死亡	症例	死亡
性別/受診者数	1	男			1		21		8				30	
	2	女			2		29		10				41	
追加症候群	27	結膜炎					34		7				41	
	28	結膜炎の疑い												
	29	アレルギー性結膜炎			2		6		3				11	
	30	流行性角結膜炎												
	31	結膜下出血					2						2	
	32	角膜炎					2						2	
	33	角膜びらん							2				2	
	34	ドライアイ					3		2				5	
	35	コンタクトレンズ												
	36	緑内障					1		2				3	
	37	白内障					1		3				4	
	38	眼内レンズ挿入眼(白内障術後)					2						2	
	39	結膜異物			1								1	
	40	角膜異物												
	41	眼瞼炎					2						2	
	42	麦粒腫					1						1	
43	網膜疾患								3			3		
44	屈折異常						1					1		

KuraDRO 災害時処方せんver.1.0

患者氏名 明・大・昭・平 年 月 日生 (男・女)		救護所名 : 医療チーム名 : 医師名 : 医師携帯電話 :	
交付年月日	平成 年 月 日		
処方 方	処方1	処方4	
	処方2	処方5	
	処方3	処方6	
		処方7	
	その他の処方		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・処方原則14日分までにしてください。(湿布は28枚まで。) ・医薬品規格の記載を忘れずをお願いします。 		
調剤済 年月日	平成 年 月 日	薬剤師名 連絡先	

取材関係一覧表

(平成30年度7月以降分)

No.	受付日	掲載・放送媒体名	会社名	掲載・放送日	内容	備考	対応者	資料記号
1	7月13日	専門誌 MEDIFAX	じほう	7月13日	倉敷市真備町への 災害支援派遣の実 施について	電話取材	加藤常任理事	事務局で受領
2		テレビ ニュース7	NHK	7月15日	倉敷市真備町での眼 科健診の取材	直接取材	白根会長	録画データを 保管
3		テレビ 日テレNEWS24 (NNNニュース)	日本テレビ	7月15日	倉敷市真備町での眼 科健診の取材	直接取材		録画データを 保管
4		テレビ RNC NEWS every	西日本放送	7月15日	倉敷市真備町での眼 科健診の取材	直接取材		報告のみ
5		新聞 山陽新聞 朝刊	山陽新聞社	7月16日	倉敷市真備町での眼 科健診の取材	直接取材	渡辺英臣 岡 山県眼科医会 会長	記事原本を所 蔵
6		新聞 朝日新聞 朝刊	朝日新聞社	7月16日	眼科健診と結膜炎の 取材	直接取材	浅井理事	記事写真を所 蔵
7		テレビ あさチャン!	TBS	7月17日	倉敷市真備町での眼 科健診の取材	直接取材	浅井理事	録画データを 保管

取材関係一覧表

(平成30年度7月以降分)

No.	受付日	掲載・放送媒体名	会社名	掲載・放送日	内容	備考	対応者	資料記号
8	7月17日	専門誌 MEDIFAX	じほう	7月17日	倉敷市真備町での眼科健診の実施報告	電話取材	加藤常任理事	事務局で受領
9	7月17日	テレビ みんなのニュース 報道ランナー	関西テレビ	7月17日	眼科健診と結膜炎の取材	電話取材	加藤常任理事	データなし
10	7月17日	新聞 毎日新聞 夕刊	毎日新聞社	7月18日	眼科健診と結膜炎の取材	電話取材	浅井理事	記事データを所蔵
11	7月17日	新聞 読売新聞 朝刊	読売新聞社	7月20日	結膜炎の取材	電話取材	加藤常任理事	記事原本を所蔵
12	7月19日	テレビ あさイチ	NHK	7月23日	眼科健診と結膜炎の取材	電話取材	加藤常任理事 ⇒ 桐生先生	録画データを保管
13	7月18日	新聞 読売新聞 夕刊	読売新聞社	7月23日	眼科健診と結膜炎の取材	電話取材	加藤常任理事 浅井理事	記事原本を所蔵
14	7月18日	新聞 (未定)	共同通信社	(未定)	眼科健診と結膜炎の取材	電話取材	加藤常任理事 浅井理事	

取材関係一覧表

(平成30年度7月以降分)

No.	受付日	掲載・放送媒体名	会社名	掲載・放送日	内容	備考	対応者	資料記号
15	7月24日	新聞 (未定)	産経新聞社	(未定)	眼科健診と結膜炎の 取材	電話取材	加藤常任理事	
16		新聞 山陽新聞	山陽新聞社	7月23日	眼科健診と結膜炎の 取材	不明	辻優 岡山県 眼科医会副会 長	